

1月 令和5年1月5日 ちびっこの森通信 vol.206

・冬の健康習慣を身につけて寒さに負けずに元気に遊ぶ
・お友だちと一緒にルールを守ってお正月遊びを楽しむ

～今月の園内学習～

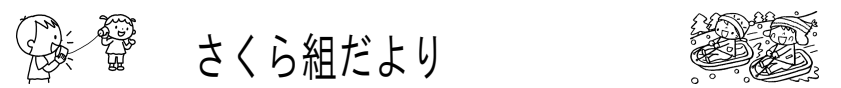
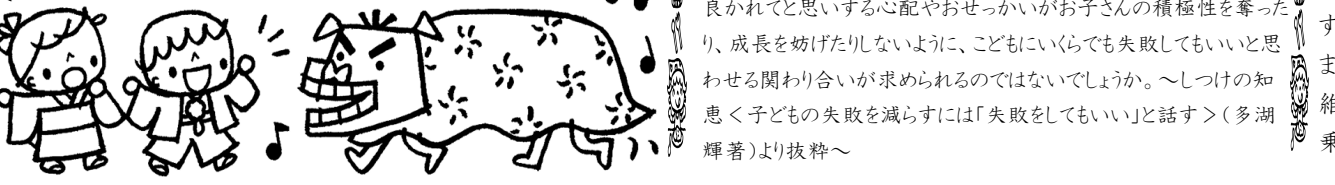
- ・たし算…7の段
- ・かけ算…7の段
- ・数字カード…1～20の数字
- ・食べ物カード…今月の旬な食べ物
- ・漢字カード…小学校1学年で習う漢字30
- ・歴史カード…「聖徳太子」他
- ・ひらがなカード…「な行」
- ・国旗カード…日本ほかアジアの国
- ・地理カード…滋賀県ほか近畿地方
- ・声に出して読みたい日本語…論語ほか
- ・英会話…動物、曜日、季節の種類

- ・魚への漢字…「さわら」「ぶり」
- ・木への漢字…「たちばな」「つばき」
- ・絵画カード…「自画像」他



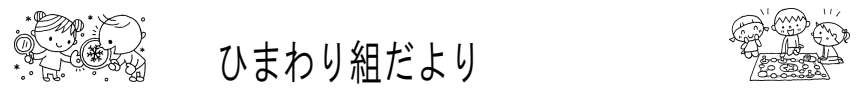
～行事予定～

- ・書道教室…19日[習字]・26日
- ・英語教室…24日
- ・避難訓練…26日
- ・身体測定…12日
- ・リミック…16日[年少] 31日[年中・年長]
- ・体操教室…18日[年少] 20日[年中・年長]
- ・お誕生日会…30日



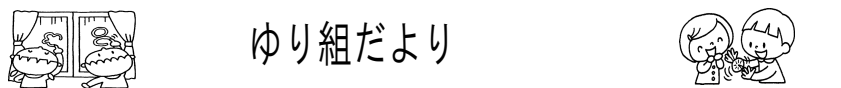
さくら組だより

みんなは耳たぶが痛くなる厳しい寒さも物ともせず、戸外を「こどもは風の子」を地でいく勢いで走り回り、元気一杯です。1年最後のビッグイベントのXmas会では、サンタクロースの来園でクリスマスプレゼントを手にし、一緒に記念撮影までして大盛り上がりとなりました。それもそのはずで、その日のために一所懸命準備した三角帽子、オーナメント飾りしたクリスマスツリーなど準備万端で「サンタ、来るかな？」や「プレゼントはあるかな？」と多少、心配だったことが全て実現した訳ですから…今回は久々のホワイトクリスマスということだけあって、辺り一面は真っ白な雪景色に覆われ雰囲気も抜群でした。みんなは戸外で雪だるまを作ったり、フワフワの雪を宙に舞わせて冬ならではの遊びも出来て感慨もひとしおといったところ。また、玩具のカップを使ってアイスクリームやケーキを作ったり、砂とはまた違う感触遊びも楽しむことができて、こどもたちは夢中になって自然との触れ合いができたのはいい思い出となったのではないかと感じています。他にも、日常の園生活では登降園で自分の荷物の整理整頓を「長い針が〇迄にするよお～」と時間間隔も入れて自立活動に取り組んでいます。時には、遊んでいる他の子の姿が気になるばかりで手が動かなくなる場合もありますが、極力切り替えを促し、一つのことに集中して取り組むように仕向けています。おかげで、みんなもその方向で頑張っているので何よりと感じています。



ひまわり組だより

開口一番に出てくる言葉「さむ～い…」とは裏腹に「今日公園？」と戸外遊びに期待を寄せるひまわり組こ。寒さで赤みがさす頬や鼻など関係ないといった風情で外遊びを謳歌している感じです。気づけば、来年度は年長クラスということですので今月から進級意識を持って臨んでいきたいと思います。先月はクリスマス一色の中、園ではオーナメント飾りや帽子の製作で雰囲気たっぷり本番を迎えることになりました。会当日は手づくりツリーに思い思いの飾りつけをし、サンタの来園でプレゼントも手にして満足のひとときとなりました。他にも、クッキングでは寒い季節にぴったりな、あったか豚汁づくりに挑戦しました。「白菜とさつまいもチーム」と「人参と大根チーム」に分かれ、給食の先生と一緒に包丁で野菜切りをしました。「猫の手にするんよね！」「ちょっと固いなあ…」と言いながらも、集中してとても上手に切り、こんにゃくはみんなで食べやすい大きさに手でちぎりました。こんにゃくがツルツル滑ってなかなか難しそうでしたが、コツを掴むと「年少さんは小さい方がいいかもね！」と、年下のお友達の事も考えながら作る事ができました。その給食では、「僕が切った人参！」等と豚汁の中に入っている具材を自己自慢したり、他のクラスの子も満足そうに食べる姿を目にして今回の当番の使命を果し、嬉しそうでした。次回もこの流れを引継ぎ、頑張ってもらえるといいなあ～と思います。



ゆり組だより

みんなは記録的な寒さにも動じずに元気一杯に外遊びに興じています。先月は絵の具の活動や製作に精を出しました。今年度はじめにスタートした絵の具活動にも馴染み、色の組合せなど独自の工夫を凝らし、自分の描きたいものを表現していく姿に頼もしさを感じています。また、クリスマスをテーマにオリジナルなツリー画を仕上げたのも印象的でした。白色を上手に散らして「雪」をイメージしたり、他の子の作風も参考にしながら自身の中に取り入れていく積極性も良かったと感じています。クリスマス会に向け、「サンタさん僕の家に来るかな？」と話題はつついそのことで持ちつきりでしたが、きっちりとの準備を進めていき、楽しい会となっていたのは何よりでした。また、今回はそれだけでなくホワイトクリスマスだったので室外で雪だるまを作ったり、雪合戦をしたりと盛り沢山のプレゼントに大満足していました。いよいよ就学準備も仕上げの段階に入ってきました。「動」から「静」の切り替え、一つのことに集中して最後までやり切る、他の子への思いやりや物の加減調整など一つひとつを最後まで取組み、出来るようにして小学校生活に入っていけるように頑張っていきたいと思いますのでよろしくお祈りします。



給食室だより

～寒い冬は旬の大根パワーで元気一杯！～

厳しい寒さの冬本番には身体の芯からポカポカと温めてくれる、味が滲みたホクホクのおでんやブリ大根を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか？その根菜はインフルエンザや風邪、胃痛など、冬のお悩みを解消する成分が豊富で、医師推奨の冬野菜でもあります。そんな大根ですが、「生」と「火が通った状態」だと、健康効果に違いがあるようなのでご紹介したいと思います。まずは、生の大根では焼き魚の大根おろしや大根サラダが代表的でピリッと辛さが印象的で、これは血液をサラサラにし、インフルエンザウィルス等の菌を除去する「イソチオシアネート」効果が期待できます。その他には、「ジアスターゼ」等が胃炎やアレルギー疾患の予防改善になる成分が含まれています。一方、加熱すると逆に甘味が増してくるのは辛味成分が低下する代わりに抗酸化作用や植物繊維が増すことになり、デトックスで腸内環境の改善に効果大と言えるそうです。また、大根の葉には「造血のビタミン」と言われる葉酸が多く含まれ、細胞分裂を助けるので妊娠中の方は積極的に摂取したい栄養素だそう。また、貧血や動脈硬化の予防に役立つので健康維持の為にも必要です。このように、見た目は水っぽいだけとの印象を受けがちですが、旬の大根を摂り入れて健やかに元気に冬を乗り切っていくようにしましょう！



♪今月の歌♪

- ◇ふじの山
- ◆北風小僧の寒太郎

～保育のポイント～

本田技研創業者・本田宗一郎氏の有名な言葉に「失敗を恐れてはいけない。恐れてはいけないのは、失敗を恐れて何もしなくなることだ」があります。こどもが自発的に新しいことに取り組もうとする際、思いつきもしない突飛な考えや常識に縛られない自由な発想で行おうとすることがあると思います。もし、そのことが親御さんの経験上、上手くないと推察できるとそれを抑制するような言動に繋がるようなこともあるでしょう。一方、こどもたちにとってはそのことが容易に把握できないばかりか、その積み重ねが「上手いかないかもれない」という暗示となり結局、上手いかない結果へとつながって拳句は失敗を恐れるあまり、新しいことに取り組む意欲が削がれ、無気力な心理状態に追い込まれるような事態を招かないとも限りません。このように、良かれてと思いきや心配やおせっかいがお子さんの積極性を奪ったり、成長を妨げたりしないように、こどもにいらでも失敗してもいいと思わせる関わり合いが求められるのではないのでしょうか。～しつけの知恵く子どもの失敗を減らすには「失敗をしてもいい」と話す>(多湖輝著)より抜粋～